晟田科技工業股份有限公司
財務報告暨會計師核閱報告
民國 115 年及 114 年第三季
（股票代碼 4541）

公司地址：高雄市路竹區北嶺二路 11 號
電　　話：(07)695-5331

晟田科技工業股份有限公司

民國 115 年及 114 年第三季財務報告暨會計師核閱報告

目　　錄

項　　目	頁　次
一、 封面	1
二、 目錄	2 ~ 3
三、 會計師核閱報告書	4 ~ 5
四、 資產負債表	6 ~ 7
五、 綜合損益表	8
六、 權益變動表	9
七、 現金流量表	10 ~ 11
八、 財務報表附註	12 ~ 42
(一) 公司沿革	12
(二) 通過財務報告之日期及程序	12
(三) 新發布及修訂準則及解釋之適用	12 ~ 13
(四) 重大會計政策之彙總說明	13 ~ 15
(五) 重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	15
(六) 重要會計項目之說明	15 ~ 32
(七) 關係人交易	32
(八) 質押之資產	33
(九) 重大或有負債及未認列之合約承諾	33

項　　目	頁　　次

(十)　重大之災害損失　33

(十一)重大之期後事項　33

(十二)其他　33 ~ 42

(十三)附註揭露事項　42

(十四)部門資訊　42

會計師核閱報告

(115)財審報字第 26002040 號

晟田科技工業股份有限公司　公鑒：

前言

晟田科技工業股份有限公司民國 115 年及 114 年 9 月 30 日之資產負債表，民國 115 年及 114 年 7 月 1 日至 9 月 30 日、民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之綜合損益表，暨民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之權益變動表、現金流量表，以及財務報表附註(包括重大會計政策彙總)，業經本會計師核閱竣事。依證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製允當表達之財務報表係管理階層之責任，本會計師之責任係依據核閱結果對財務報表作成結論。

範圍

本會計師係依照中華民國核閱準則 2410 號「財務報表之核閱」執行核閱工作。核閱財務報表時所執行之程序包括查詢(主要向負責財務與會計事務之人員查詢)、分析性程序及其他核閱程序。核閱工作之範圍明顯小於查核工作之範圍，因此本會計師可能無法察覺所有可藉由查核工作辨認之重大事項，故無法表示查核意見。

資誠聯合會計師事務所 PricewaterhouseCoopers, Taiwan
800304 高雄市新興區民族二路 95 號 22 樓
22F, No. 95, Minzu 2nd Rd., Xinxing Dist., Kaohsiung 800304, Taiwan
T: +886 (7) 237 3116, F:+ 886 (7) 236 5631
www.pwc.tw

結論

依本會計師核閱結果，並未發現上開財務報表在所有重大方面有未依照證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製，致無法允當表達晟田科技工業股份有限公司民國 115 年及 114 年 9 月 30 日之財務狀況，民國 115 年及 114 年 7 月 1 日至 9 月 30 日、民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之財務績效，暨民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之現金流量之情事。

資　誠　聯　合　會　計　師　事　務　所

吳建志 

會計師

王國華 



金融監督管理委員會
核准簽證文號：金管證審字第 1030027246 號
前財政部證券暨期貨管理委員會
核准簽證文號：(87)台財證(六)第 68790 號

中　華　民　國　１１５　年　１１　月　５　日

晟田科技工業股份有限公司

資產負債表

民國115年9月30日及民國114年12月31日、9月30日

單位：新台幣仟元

	資產	附註	115年9月30日 金額	%	114年12月31日 金額	%	114年9月30日 金額	%
	流動資產							
1100	現金及約當現金	六(一)	$ 1,085,726	23	$ 505,018	13	$ 351,895	9
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產－	六(二)						
	流動		37,578	1	42,625	1	44,725	1
1136	按攤銷後成本衡量之金融資產－流動	六(三)及八	297,705	6	269,560	7	494,169	12
1140	合約資產－流動	六(十九)	85,617	2	80,389	2	63,261	2
1150	應收票據淨額	六(四)	1,820	-	2,141	-	28,800	1
1170	應收帳款淨額	六(四)	585,559	13	418,566	11	447,567	11
1200	其他應收款		18,554	-	4,612	-	10,126	-
130X	存貨	六(五)	537,372	12	519,845	14	551,618	14
1410	預付款項		21,418	-	31,067	1	19,762	1
1479	其他流動資產－其他		1,869	-	2,187	-	1,758	-
11XX	**流動資產合計**		2,673,218	57	1,876,010	49	2,013,681	51
	非流動資產							
1535	按攤銷後成本衡量之金融資產－非流動	六(三)及八	80,447	2	68,863	2	66,705	2
1600	不動產、廠房及設備	六(六)及八	1,395,586	30	1,404,611	37	1,399,805	35
1755	使用權資產	六(七)	426,184	9	410,703	11	414,529	10
1780	無形資產	六(八)	1,151	-	1,696	-	2,186	-
1840	遞延所得稅資產		47,908	1	42,569	1	46,850	1
1915	預付設備款		27,565	1	17,049	-	28,660	1
1920	存出保證金		432	-	432	-	430	-
1975	淨確定福利資產－非流動		4,867	-	4,867	-	-	-
1990	其他非流動資產－其他		2,318	-	4,295	-	3,500	-
15XX	**非流動資產合計**		1,986,458	43	1,955,085	51	1,962,665	49
1XXX	**資產總計**		$ 4,659,676	100	$ 3,831,095	100	$ 3,976,346	100

（續次頁）

晟田科技工業股份有限公司

資產負債表

民國115年9月30日及民國114年12月31日、9月30日

單位：新台幣仟元

	負債及權益	附註	115年9月30日 金額	%	114年12月31日 金額	%	114年9月30日 金額	%
	流動負債							
2100	短期借款	六(九)及八	$ 323,000	7	$ 356,000	9	$ 471,000	12
2110	應付短期票券	六(十)及八	70,000	2	79,500	2	179,500	5
2150	應付票據		15,249	-	9,317	-	9,306	-
2170	應付帳款		128,777	3	78,573	2	91,287	2
2200	其他應付款	六(十一)	250,512	5	207,158	6	180,567	5
2230	本期所得稅負債		39,861	1	22,952	1	9,437	-
2280	租賃負債－流動		14,215	-	13,209	-	13,162	-
2320	一年或一營業週期內到期長期負債	六(十三)及八	50,429	1	65,338	2	76,403	2
2399	其他流動負債－其他		2,015	-	1,853	-	1,929	-
21XX	**流動負債合計**		894,058	19	833,900	22	1,032,591	26
	非流動負債							
2500	透過損益按公允價值衡量之金融負債－	六(二)						
	非流動		3,040	-	-	-	-	-
2530	應付公司債	六(十二)及八	1,145,796	25	700,000	18	700,000	18
2540	長期借款	六(十三)及八	97,426	2	133,794	3	147,035	4
2570	遞延所得稅負債		973	-	973	-	-	-
2580	租賃負債－非流動		431,053	9	414,853	11	418,172	10
2630	長期遞延收入	六(六)	33,141	1	37,087	1	37,950	1
2640	淨確定福利負債－非流動		-	-	-	-	2,324	-
25XX	**非流動負債合計**		1,711,429	37	1,286,707	33	1,305,481	33
2XXX	**負債總計**		2,605,487	56	2,120,607	55	2,338,072	59
	股本	六(十六)						
3110	普通股股本		676,471	15	676,471	18	676,471	17
3140	預收股本		134,083	3	-	-	-	-
	資本公積	六(十七)						
3200	資本公積		929,572	19	832,312	22	832,312	21
	保留盈餘	六(十八)						
3310	法定盈餘公積		46,154	1	32,243	1	32,243	1
3350	未分配盈餘		267,909	6	169,462	4	97,248	2
3XXX	**權益總計**		2,054,189	44	1,710,488	45	1,638,274	41
	重大或有負債及未認列之合約承諾	九						
3X2X	**負債及權益總計**		$ 4,659,676	100	$ 3,831,095	100	$ 3,976,346	100

後附財務報表附註為本財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：謝永昌　　經理人：黃寶文　　會計主管：鈴木德龍

晟田科技工業股份有限公司

綜合損益表

民國115年及114年1月1日至9月30日

單位：新台幣仟元
（除每股盈餘為新台幣元外）

	項目	附註	115年7月1日至9月30日 金額	%	114年7月1日至9月30日 金額	%	115年1月1日至9月30日 金額	%	114年1月1日至9月30日 金額	%
4000	營業收入	六(十九)	$ 559,544	100	$ 427,357	100	$ 1,560,071	100	$ 1,178,030	100
5000	營業成本	六(五)(八)								
		(二十四)	(423,942)	(76)	(335,800)	(79)	(1,183,622)	(76)	(920,942)	(78)
5900	營業毛利		135,602	24	91,557	21	376,449	24	257,088	22
	營業費用	六(八)								
		(二十四)								
6100	推銷費用		(7,275)	(1)	(7,358)	(2)	(20,208)	(1)	(21,536)	(2)
6200	管理費用		(20,688)	(4)	(19,248)	(4)	(59,436)	(4)	(53,903)	(5)
6300	研究發展費用		(14,957)	(2)	(13,589)	(3)	(42,168)	(3)	(41,676)	(3)
6450	預期信用減損損失	十二(二)	-	-	-	-	(2,113)	-	-	-
6000	營業費用合計		(42,920)	(7)	(40,195)	(9)	(123,925)	(8)	(117,115)	(10)
6900	營業利益		92,682	17	51,362	12	252,524	16	139,973	12
	營業外收入及支出									
7100	利息收入	六(二十)	3,299	1	5,458	1	12,447	1	18,256	2
7010	其他收入	六(二十一)	227	-	1,210	-	1,916	-	5,155	-
7020	其他利益及損失	六(二)								
		(二十二)	5,598	1	29,517	7	6,400	-	(55,827)	(5)
7050	財務成本	六(二十三)	(8,109)	(2)	(8,997)	(2)	(23,258)	(1)	(27,604)	(2)
7000	營業外收入及支出合計		1,015	-	27,188	6	(2,495)	-	(60,020)	(5)
7900	**稅前淨利**		93,697	17	78,550	18	250,029	16	79,953	7
7950	所得稅費用	六(二十五)	(18,758)	(4)	(14,980)	(3)	(42,965)	(3)	(13,055)	(1)
8200	**本期淨利**		$ 74,939	13	$ 63,570	15	$ 207,064	13	$ 66,898	6
8500	**本期綜合損益總額**		$ 74,939	13	$ 63,570	15	$ 207,064	13	$ 66,898	6
	每股盈餘	六(二十六)								
9750	基本		$ 1.11		$ 0.94		$ 3.06		$ 0.99	
9850	稀釋		$ 1.10		$ 0.94		$ 3.05		$ 0.99	

後附財務報表附註為本財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：謝永昌　　經理人：黃寶文　　會計主管：鈴木德龍

晟田科技工業股份有限公司

權益變動表

民國115年及114年1月1日至9月30日

單位：新台幣仟元

	附註	股本 普通股股本	預收股本	資本公積 發行溢價	庫藏股票交易	員工認股權	認股權	其他	保留盈餘 法定盈餘公積	未分配盈餘	合計
114年1月1日至9月30日											
民國114年1月1日餘額		$ 676,471	$ -	$ 792,825	$ 20,980	$ -	$ -	$ 18,507	$ 23,234	$ 90,094	$ 1,622,111
本期淨利		-	-	-	-	-	-	-	-	66,898	66,898
本期綜合損益總額		-	-	-	-	-	-	-	-	66,898	66,898
民國113年度盈餘指撥及分配：											
法定盈餘公積		-	-	-	-	-	-	-	9,009	(9,009)	-
現金股利	六(十八)	-	-	-	-	-	-	-	-	(50,735)	(50,735)
民國114年9月30日餘額		$ 676,471	$ -	$ 792,825	$ 20,980	$ -	$ -	$ 18,507	$ 32,243	$ 97,248	$ 1,638,274
115年1月1日至9月30日											
民國115年1月1日餘額		$ 676,471	$ -	$ 792,825	$ 20,980	$ -	$ -	$ 18,507	$ 32,243	$ 169,462	$ 1,710,488
本期淨利		-	-	-	-	-	-	-	-	207,064	207,064
本期綜合損益總額		-	-	-	-	-	-	-	-	207,064	207,064
民國114年度盈餘指撥及分配：											
法定盈餘公積		-	-	-	-	-	-	-	13,911	(13,911)	-
現金股利	六(十八)	-	-	-	-	-	-	-	-	(94,706)	(94,706)
股份基礎給付交易	六(十五)	-	-	-	-	6,525	-	-	-	-	6,525
現金增資	六(十六)	-	134,083	-	-	-	-	-	-	-	134,083
發行可轉換公司債	六(十二)	-	-	-	-	-	90,735	-	-	-	90,735
民國115年9月30日餘額		$ 676,471	$ 134,083	$ 792,825	$ 20,980	$ 6,525	$ 90,735	$ 18,507	$ 46,154	$ 267,909	$ 2,054,189

後附財務報表附註為本財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：謝永昌　　經理人：黃寶文　　會計主管：鈴木德龍

晟田科技工業股份有限公司

現金流量表

民國115年及114年1月1日至9月30日

單位：新台幣仟元

	附註	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
營業活動之現金流量			
本期稅前淨利		$ 250,029	$ 79,953
調整項目			
收益費損項目			
透過損益按公允價值衡量之金融資產(負	六(二)(二十二)		
債)淨損失		5,523	407
股份基礎給付酬勞成本	六(十五)	6,525	-
預期信用減損損失	十二(二)	2,113	-
折舊費用	六(六)(七)		
	(二十四)	134,350	144,628
攤銷費用	六(八)(二十四)	3,212	3,180
利息費用	六(二十三)	23,258	27,604
利息收入	六(二十)	(12,447)	(18,256)
處分及報廢不動產、廠房及設備利益	六(二十二)		
	(二十七)	(148)	-
與營業活動相關之資產/負債變動數			
與營業活動相關之資產之淨變動			
合約資產—流動		(5,228)	(15,261)
應收票據		321	(27,795)
應收帳款		(169,106)	(9,362)
其他應收款		(13,942)	(5,685)
存貨		(17,527)	(123,981)
預付款項		9,649	19,276
其他流動資產－其他		318	973
與營業活動相關之負債之淨變動			
應付票據		450	450
應付帳款		50,204	20,238
其他應付款		35,014	9,436
其他流動負債－其他		162	(73)
營運產生之現金流入		302,730	105,732
收取之利息		12,447	18,256
支付之利息		(12,686)	(17,685)
退還之所得稅		-	2,788
支付之所得稅		(31,395)	(8,895)
營業活動之淨現金流入		271,096	100,196

(續次頁)

晟田科技工業股份有限公司
現金流量表
民國115年及114年1月1日至9月30日

單位：新台幣仟元

	附註	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
投資活動之現金流量			
取得透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動		$ (656)	$ -
處分透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動		-	891
按攤銷後成本衡量之金融資產－流動(增加)減少		(28,145)	104,120
按攤銷後成本衡量之金融資產－非流動(增加)減少		(11,584)	5,127
取得不動產、廠房及設備	六(二十七)	(106,641)	(33,763)
處分不動產、廠房及設備價款	六(二十七)	16	13
取得無形資產	六(八)	(409)	(657)
預付設備款增加		(17,236)	(18,760)
存出保證金減少		-	1,128
其他非流動資產－其他增加		(281)	(2,680)
投資活動之淨現金(流出)流入		(164,936)	55,419
籌資活動之現金流量			
短期借款減少	六(二十八)	(33,000)	(64,000)
應付短期票券(減少)增加	六(二十八)	(9,500)	49,500
舉借長期借款	六(二十八)	-	50,000
償還長期借款	六(二十八)	(51,277)	(96,596)
租賃本金償還	六(二十八)	(10,530)	(9,750)
發行公司債	六(二十八)	539,478	-
現金增資	六(十六)	134,083	-
發放現金股利	六(十八)	(94,706)	(50,735)
籌資活動之淨現金流入(流出)		474,548	(121,581)
本期現金及約當現金增加數		580,708	34,034
期初現金及約當現金餘額		505,018	317,861
期末現金及約當現金餘額		$ 1,085,726	$ 351,895

後附財務報表附註為本財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：謝永昌　　經理人：黃寶文　　會計主管：鈴木德龍

晟田科技工業股份有限公司
財務報表附註
民國115年及114年第三季

單位：新台幣仟元
（除特別註明者外）

一、公司沿革

晟田科技工業股份有限公司(以下簡稱「本公司」)於民國80年8月15日奉准設立，並於民國93年7月12日為合併基準日申請與鎂家能機械股份有限公司合併，本公司為存續公司。本公司主要營業項目為機械設備、航空器及一般儀器製造業。本公司股票於民國103年7月22日起於中華民國證券櫃檯買賣中心掛牌交易。

二、通過財務報告之日期及程序

本財務報告已於民國115年11月5日經董事會通過後發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一)已採用金融監督管理委員會(以下簡稱「金管會」)認可並發布生效之新發布、修正後國際財務報導準則會計準則之影響

下表彙列金管會認可並發布生效之民國115年適用之國際財務報導準則會計準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第9號及國際財務報導準則第7號之修正「金融工具之分類與衡量之修正」	民國115年1月1日
國際財務報導準則第9號及國際財務報導準則第7號之修正「涉及依賴自然電力的合約」	民國115年1月1日
國際財務報導準則第17號「保險合約」	民國112年1月1日
國際財務報導準則第17號「保險合約」之修正	民國112年1月1日
國際財務報導準則第17號之修正「初次適用國際財務報導準則第17號及國際財務報導準則第9號—比較資訊」	民國112年1月1日
國際財務報導準則會計準則之年度改善－第11冊	民國115年1月1日

本公司經評估上述準則及解釋對本公司財務狀況與財務績效並無重大影響。

(二)尚未採用金管會認可之新發布、修正後國際財務報導準則會計準則之影響

下表彙列金管會認可之民國116年適用之國際財務報導準則會計準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第18號「財務報表中之表達與揭露」	民國116年1月1日(註1)
國際財務報導準則第19號「不具公共課責性之子公司：揭露」	民國116年1月1日

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際會計準則第21號之修正「換算為高度通貨膨脹之表達貨幣」	民國116年1月1日
國際會計準則第28號之修正「對投資關聯企業及合資之公允價值選項之修正」	民國116年1月1日(註2)

註1：企業於民國117年1月1日以後適用國際財務報導準則第18號(以下簡稱IFRS 18)，並得選擇提前適用。

註2：企業應與IFRS 18同時適用。

除下列所述者外，本公司經評估上述準則及解釋對本公司財務狀況與財務績效並無重大影響，相關影響金額待評估完成時予以揭露：

國際財務報導準則第18號「財務報表中之表達與揭露」

國際財務報導準則第18號「財務報表中之表達與揭露」取代國際會計準則第1號並更新綜合損益表之架構，及新增管理績效衡量之揭露，並強化運用於主要財務報表及附註之彙總及細分原則。

(三)國際會計準則理事會已發布但尚未經金管會認可之國際財務報導準則會計準則之影響

下表彙列國際會計準則理事會已發布但尚未納入金管會認可之國際財務報導準則會計準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第10號及國際會計準則第28號之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	待國際會計準則理事會決定
國際財務報導準則第20號「管制資產及管制負債」	民國118年1月1日

本公司經評估上述準則及解釋對本公司財務狀況與財務績效並無重大影響。

四、重大會計政策之彙總說明

重大會計政策除遵循聲明、編製基礎及新增部分說明如下，餘與民國114年度財務報表附註四相同。除另有說明外，此等政策在所有報導期間一致地適用。

(一)遵循聲明

1. 本財務報告係依據證券發行人財務報告編製準則與金管會認可並發布生效之國際會計準則第34號「期中財務報導」編製。

2. 本財務報告應併同民國114年度財務報告閱讀。

(二)編製基礎

1. 除按公允價值衡量之透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債(包含衍生工具)及退休基金資產減除確定福利義務現值之淨額認列之確定福利資產(負債)外，本財務報告係按歷史成本編製。

2.編製符合金管會認可並發布生效之國際財務報導準則、國際會計準則、解釋及解釋公告(以下簡稱 IFRSs)之財務報告需要使用一些重要會計估計值，在應用本公司的會計政策過程中亦需要管理階層運用其判斷，涉及高度判斷或複雜性之項目，或涉及財務報告之重大假設及估計之項目，請參閱附註五說明。

(三)透過損益按公允價值衡量之金融負債

1.係指原始認列時被指定為透過損益按公允價值衡量之金融負債。本公司於金融負債符合下列條件之一時，於原始認列時將其指定為透過損益按公允價值衡量：

(1)係混合(結合)合約；或

(2)可消除或重大減少衡量或認列不一致；或

(3)係依書面之風險管理政策，以公允價值基礎管理並評估其績效之工具。

2.本公司於原始認列時按公允價值衡量，相關交易成本認列於損益，後續按公允價值衡量，其利益或損失認列於損益。

(四)應付可轉換公司債

本公司發行之應付可轉換公司債，嵌入有轉換權(即持有人可選擇轉換為本公司普通股之權利，且為固定金額轉換固定數量之股份)、贖回權及賣回權。於初始發行時將發行價格依發行條件區分為金融資產、金融負債或權益，其處理如下：

1.嵌入之贖回權與賣回權：於原始認列時以其公允價值之淨額帳列「透過損益按公允價值衡量之金融資產或負債」；後續於資產負債表日，按當時之公允價值評價，差額認列「透過損益按公允價值衡量之金融資產(負債)利益或損失」。

2.公司債之主契約：於原始認列時按公允價值衡量，與贖回價值間之差額認列為應付公司債溢折價；後續採有效利息法按攤銷程序於流通期間內認列於損益，作為「財務成本」之調整項目。

3.嵌入之轉換權(符合權益之定義)：於原始認列時，就發行金額扣除上述「透過損益按公允價值衡量之金融資產或負債」及「應付公司債」後之剩餘價值帳列「資本公積－認股權」，後續不再重新衡量。

4.發行之任何直接歸屬之交易成本，按上述各項組成之原始帳面金額比例分配至各負債及權益之組成部分。

5.當持有人轉換時，帳列負債組成部分(包括「應付公司債」及「透過損益按公允價值衡量之金融資產或負債」)按其分類之後續衡量方法處理，再以前述依負債組成部分之帳面金額加計「資本公積－認股權」之帳面金額作為換出普通股之發行成本。

(五)員工福利

期中期間之退休金成本係採用前一財務年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算。若該結束日後有重大市場變動及重大縮減、清償或其他重大一次性事項，則加以調整，並配合前述政策揭露相關資訊。

(六)員工股份基礎給付

以權益交割之股份基礎給付協議係於給與日以所給與權益工具之公允價值衡量所取得之員工勞務，於既得期間認列為酬勞成本，並相對調整權益。權益工具之公允價值應反映市價既得條件及非既得條件之影響。認列之酬勞成本係隨著預期將符合服務條件及非市價既得條件之獎酬數量予以調整，直至最終認列金額係以既得日既得數量認列。

(七)所得稅

期中期間之所得稅費用以估計之年度平均有效稅率應用至期中期間之稅前損益計算之，並配合前述政策揭露相關資訊。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

本期無重大變動，請參閱民國 114 年度財務報表附註五。

六、重要會計項目之說明

(一)現金及約當現金

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
庫存現金及週轉金	$ 278	$ 145	$ 247
支票存款及活期存款	398,058	305,415	293,802
定期存款	587,390	199,458	57,846
附買回債券	100,000	-	-
	$ 1,085,726	$ 505,018	$ 351,895

1.本公司往來之金融機構信用品質良好，且本公司與多家金融機構往來以分散信用風險，預期發生違約之可能性甚低。

2.有關本公司將現金及約當現金提供作為質押擔保之情形，請參閱附註八。

(二)透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債

項目	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
流動項目：			
強制透過損益按公允價值衡量之金融資產			
受益憑證	$ 37,578	$ 42,625	$ 44,725
非流動項目：			
指定為透過損益按公允價值衡量之金融負債			
可轉換公司債嵌入之贖回權及賣回權	$ 3,040	$ -	$ -

1.本公司透過損益按公允價值衡量之金融資產(負債)於民國 115 年及 114 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日認列之淨利益(損失)分別為($4,464)、$734、($5,523)及($407)。

2.相關透過損益按公允價值衡量之金融資產信用風險資訊請詳附註十二、(二)。

(三)按攤銷後成本衡量之金融資產

項　　目	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
流動項目：			
質押活期及定期存款	$ 286,337	$ 226,885	$ 315,197
原始到期日超過三個月之定期存款	11,368	42,675	178,972
	$ 297,705	$ 269,560	$ 494,169
非流動項目：			
金融債券	$ 80,447	$ 68,863	$ 66,705

1. 在不考慮所持有之擔保品或其他信用增強之情況下，最能代表本公司持有按攤銷後成本衡量之金融資產，於民國115年9月30日、114年12月31日及114年9月30日信用風險最大之暴險金額均為其帳面價值；其利息收入認列於銀行存款利息收入項下，請參閱附註六、(二十)。

2. 本公司將按攤銷後成本衡量之金融資產提供作為質押擔保之情形，請詳附註八。

3. 相關按攤銷後成本衡量之金融資產信用風險資訊請詳附註十二、(二)。本公司往來之金融機構信用品質良好，預期發生違約之可能性甚低。

(四)應收票據及帳款

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
應收票據	$ 1,820	$ 2,141	$ 28,800
應收帳款	$ 589,375	$ 420,269	$ 449,270
減：備抵損失	(3,816)	(1,703)	(1,703)
	$ 585,559	$ 418,566	$ 447,567

1. 應收票據及應收帳款之帳齡分析如下：

	115年9月30日		114年12月31日		114年9月30日	
	應收票據	應收帳款	應收票據	應收帳款	應收票據	應收帳款
未逾期	$ 1,820	$ 586,145	$ 2,141	$ 417,490	$ 28,800	$ 441,479
1-30天	-	3,163	-	2,746	-	7,492
31-90天	-	-	-	33	-	299
91天以上	-	67	-	-	-	-
	$ 1,820	$ 589,375	$ 2,141	$ 420,269	$ 28,800	$ 449,270

以上係以逾期天數為基準進行之帳齡分析。

2. 民國115年9月30日、114年12月31日及114年9月30日之應收票據及應收帳款餘額均為客戶合約所產生，另於民國114年1月1日客戶合約之應收票據及應收帳款餘額為$440,913。

3. 在不考慮所持有之擔保品或其他信用增強之情況下，最能代表本公司應收票據於民國115年9月30日、114年12月31日及114年9月30日信用風險最大之暴險金額分別為$1,820、$2,141及$28,800；最能代表本公

司應收帳款於民國115年9月30日、114年12月31日及114年9月30日信用風險最大之暴險金額分別為$585,559、$418,566及$447,567。

4.相關應收票據及應收帳款信用風險資訊請參閱附註十二、(二)。

5.本公司並未持有任何的擔保品。

(五)存貨

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
原料	$ 87,286	$ 153,755	$ 208,956
物料	76,397	48,419	53,985
在製品	227,441	134,309	129,362
製成品	146,248	183,362	159,315
	$ 537,372	$ 519,845	$ 551,618

本公司當期認列為費損之存貨成本：

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日
已出售存貨成本	$ 410,043	$ 326,571
跌價損失	7,903	6,267
其他	5,996	2,962
	$ 423,942	$ 335,800
	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
已出售存貨成本	$ 1,133,686	$ 887,508
跌價損失	29,116	13,795
其他	20,820	19,639
	$ 1,183,622	$ 920,942

(六)不動產、廠房及設備

1.帳面金額資訊如下：

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
房屋及建築	$ 841,608	$ 849,414	$ 858,791
機器設備	502,240	507,520	521,376
運輸設備	1,501	821	324
辦公設備	4,812	5,674	5,418
其他設備	3,585	3,006	2,960
未完工程及待驗設備	41,840	38,176	10,936
	$ 1,395,586	$ 1,404,611	$ 1,399,805

2.本期變動情形如下：

115年1月1日至9月30日

	期初餘額	增添	處分	移轉	期末餘額
成　本					
房屋及建築	$ 1,324,080	$ 6,180	$ -	$ 15,316	$ 1,345,576
機器設備	3,081,731	59,519	(1,514)	28,963	3,168,699
運輸設備	4,776	860	-	-	5,636
辦公設備	26,924	655	(20)	-	27,559
其他設備	5,279	1,440	-	617	7,336
未完工程及待驗設備	38,176	41,840	-	(38,176)	41,840
	$ 4,480,966	$ 110,494	$ (1,534)	$ 6,720	$ 4,596,646
累計折舊					
房屋及建築	$ (474,666)	$ (29,302)	$ -	$ -	$ (503,968)
機器設備	(2,574,211)	(93,570)	1,322	-	(2,666,459)
運輸設備	(3,955)	(180)	-	-	(4,135)
辦公設備	(21,250)	(1,511)	14	-	(22,747)
其他設備	(2,273)	(1,478)	-	-	(3,751)
	$(3,076,355)	$ (126,041)	$ 1,336	$ -	$(3,201,060)
	$ 1,404,611				$ 1,395,586

114年1月1日至9月30日

	期初餘額	增添	處分	移轉	期末餘額
成　本					
房屋及建築	$ 1,314,200	$ 1,331	$ -	$ 8,549	$ 1,324,080
機器設備	3,019,985	40,880	(162)	3,693	3,064,396
運輸設備	4,506	381	-	-	4,887
辦公設備	23,893	2,276	-	-	26,169
其他設備	1,678	3,120	(21)	-	4,777
未完工程及待驗設備	9,886	10,936	-	(9,886)	10,936
	$ 4,374,148	$ 58,924	$ (183)	$ 2,356	$ 4,435,245
累計折舊					
房屋及建築	$ (433,493)	$ (31,796)	$ -	$ -	$ (465,289)
機器設備	(2,441,357)	(101,825)	162	-	(2,543,020)
運輸設備	(4,506)	(57)	-	-	(4,563)
辦公設備	(19,307)	(1,444)	-	-	(20,751)
其他設備	(1,262)	(576)	21	-	(1,817)
	$(2,899,925)	$ (135,698)	$ 183	$ -	$(3,035,440)
	$ 1,474,223				$ 1,399,805

3.本公司之不動產、廠房及設備均非屬營業租賃之資產。

4.民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日皆無借款成本資本化之情事。

5.以不動產、廠房及設備提供擔保之資訊，請參閱附註八之說明。

6.屬專案補助所購置之設備成本$84,377，依該設備之估計耐用年限平均認列減少折舊費用，本公司民國115年及114年7月1日至9月30日暨民國115年及114年1月1日至9月30日折舊減少金額分別為$1,490、$858、$3,946及$2,551。截至民國115年9月30日、114年12月31日及114年9月30日止，該專案補助而尚未分攤之遞延收入分別為$33,141、$37,087及$37,950。

(七)租賃交易－承租人

1.本公司租賃之標的資產為土地，租賃合約之期間分別介於民國96年到131年。租賃合約是採個別協商並包含各種不同的條款及條件，除租賃之資產不得用作借貸擔保及轉租或轉借他人使用外，未有加諸其他之限制。

2.使用權資產之帳面金額與認列之折舊費用資訊如下：

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
	帳面金額	帳面金額	帳面金額
土地	$ 426,184	$ 410,703	$ 414,529

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日
	折舊費用	折舊費用
土地	$ 4,084	$ 3,827

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
	折舊費用	折舊費用
土地	$ 12,255	$ 11,481

3.本公司於民國115年及114年7月1日至9月30日暨民國115年及114年1月1日至9月30日使用權資產因合約租金調整而增加之金額分別為$0、$0、$27,736及$0。

4.與租賃合約有關之損益項目資訊如下：

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日
影響當期損益之項目		
租賃負債之利息費用	$ 1,581	$ 1,532
屬短期租賃合約或低價值資產租賃之費用	177	321

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
影響當期損益之項目		
租賃負債之利息費用	$ 4,781	$ 4,629
屬短期租賃合約或低價值資產租賃之費用	570	1,050

5.本公司於民國115年及114年7月1日至9月30日暨民國115年及114年1月1日至9月30日租賃現金流出總額分別為$5,279、$5,115、$15,881及$15,429。

6.租賃延長之選擇權

(1)本公司租賃合約中屬土地類型之租賃標的，皆包含了本公司可行使之延長選擇權。

(2)本公司於決定租賃期間時，係將所有行使延長選擇權會產生經濟誘因的事實和情況納入考量。當發生對行使延長選擇權之評估的重大事件發生時，則租賃期間將重新估計。

(八)無形資產

1.帳面金額資訊如下：

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
電腦軟體	$ 1,151	$ 1,696	$ 2,186

2.本期變動情形如下：

115年1月1日至9月30日

	期初餘額	本期增加	本期攤銷	期末餘額
電腦軟體	$ 1,696	$ 409	$ (954)	$ 1,151

114年1月1日至9月30日

	期初餘額	本期增加	本期攤銷	期末餘額
電腦軟體	$ 2,947	$ 657	$ (1,418)	$ 2,186

3.無形資產之攤銷明細如下：

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日
營業成本	$ 209	$ 422
推銷費用	2	3
管理費用	58	7
研究發展費用	38	61
	$ 307	$ 493

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
營業成本	$ 716	$ 1,180
推銷費用	7	8
管理費用	71	44
研究發展費用	160	186
	$ 954	$ 1,418

(九)短期借款

借款性質	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
銀行信用借款	$ 120,000	$ 80,000	$ 170,000
銀行擔保借款	203,000	276,000	301,000
	$ 323,000	$ 356,000	$ 471,000
利率區間	1.94%~2.10%	0.95%~2.10%	0.95%~2.10%

1.本公司銀行借款認列於損益之利息費用請參閱附註六、(二十三)。

2.上列短期借款之擔保品，請參閱附註八之說明。

(十)應付短期票券

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
商業本票	$ 70,000	$ 79,500	$ 179,500
利率區間	1.76%	1.67%	1.97%~2.02%

1.上述應付短期票券係由票券公司等金融機構保證發行,於民國115年9月30日、114年12月31日及114年9月30日止，本公司均無開立保證票據之情事。

2.上列應付短期票券之擔保品，請參閱附註八之說明。

(十一)其他應付款

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
應付薪資及年終獎金	$ 134,499	$ 105,823	$ 77,905
應付設備款	48,666	50,295	38,480
應付普通公司債利息	12,320	2,240	12,320
其他	55,027	48,800	51,862
	$ 250,512	$ 207,158	$ 180,567

(十二)應付公司債

項目	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
應付公司債	$ 1,200,000	$ 700,000	$ 700,000
減：應付公司債折價	(54,204)	-	-
	1,145,796	700,000	700,000
減：一年內到期部分	-	-	-
	$ 1,145,796	$ 700,000	$ 700,000

1.本公司於民國113年10月14日以面額發行民國113年度第一次有擔保普通公司債$700,000，其主要發行條款如下：

(1)發行總額：$700,000。

(2)發行價格：按票面金額發行，每張$1,000。

(3)票面利率：1.92%。

(4)付息方式：自發行日起依票面利率每年單利計付息一次。

(5)還本方式：到期一次還本。

(6)發行期間：3年(自民國113年10月14日起至民國116年10月14日止)。

(7)擔保方式：由臺灣銀行股份有限公司依委任契約履行公司債保證。

(8)受託銀行：台新國際商業銀行股份有限公司。

2.本公司經主管機關核准募集及發行國內第五次有擔保轉換公司債

(1)發行條件如下：

A.發行總額計$300,000，票面利率 0%，發行期間 5 年，流通期間自民國 115 年 9 月 21 日至 120 年 9 月 21 日。本轉換公司債到期時按債券面額以現金一次償還。本轉換公司債於民國 115 年 9 月 21 日於財團法人中華民國證券櫃檯買賣中心掛牌交易。

B.本轉換公司債券持有人自本債券發行日後屆滿三個月之翌日起，至到期日止，除依辦法或法令規定須暫停過戶期間外，得隨時向本公司請求轉換為本公司普通股，轉換後普通股之權利義務與原已發行之普通股相同。

C.本轉換公司債之轉換價格係依轉換辦法規定之訂定方式予以訂定，本轉換公司債發行時之轉換價格為每股新台幣 68.8 元。嗣後除本公司所發行（或私募）具普通股轉換權或認股權之各種有價證券換發普通股股份及因員工酬勞發行新股者外，如本公司已發行（或私募）普通股股份增加時，本轉換公司債之轉換價格應依發行辦法規定予以調整，並於新股發行除權基準日調整之；如因股票面額變更致已發行普通股股份增加者，則於新股換發基準日調整之。

D.本轉換公司債發行日後滿三個月之翌日(民國 115 年 12 月 22 日）起，至發行期間屆滿前四十日(民國 120 年 8 月 12 日)止，若本公司普通股收盤價格連續三十個營業日超過當時本轉換公司債轉換價格達 30%(含)時，或本轉換公司債流通在外餘額低於原發行總面額之 10%時，本公司得分別於其後三十個營業日內及其後任何時間,按債券面額以現金收回該債券持有人之本轉換公司債。

E.債券持有人得於本轉換公司債發行滿三年之日(民國 118 年 9 月 21 日)時，要求本公司依債券面額將其所持有之本轉換公司債以現金贖回。

F.依轉換辦法規定,所有本公司收回(包括由證券商營業處所買回)、償還或已轉換之本轉換公司債將被註銷，不得再賣出或發行，其所附轉換權併同消滅。

(2)本公司於發行可轉換公司債時，依據國際會計準則第 32 號「金融工具：表達」規定，將屬權益性質之轉換權與各負債組成要素分離，帳列「資本公積－認股權」計$69,341。另嵌入之贖回權與賣回權，依據國際財務報導準則第 9 號「金融工具」規定，因其與主契約債務商品之經濟特性及風險非緊密關聯，故予以分離處理，並以其淨額帳列「透過損益按公允價值衡量之金融資產或負債」。經分離後主契約債務之有效利率為 2.2056%。

3.本公司經主管機關核准募集及發行國內第六次無擔保轉換公司債

(1)發行條件如下：

A.發行總額計$200,000，票面利率 0%，發行期間 5 年，流通期間自民國 115 年 9 月 22 日至 120 年 9 月 22 日。本轉換公司債到期時按債券面額以現金一次償還。本轉換公司債於民國 115 年 9 月 22 日於財團法人中華民國證券櫃檯買賣中心掛牌交易。

B.本轉換公司債券持有人自本債券發行日後屆滿三個月之翌日起，至到期日止，除依辦法或法令規定須暫停過戶期間外，得隨時向本公司請求轉換為本公司普通股，轉換後普通股之權利義務與原已發行之普通股相同。

C.本轉換公司債之轉換價格係依轉換辦法規定之訂定方式予以訂定，本轉換公司債發行時之轉換價格為每股新台幣 62.8 元。嗣後除本公司所發行（或私募）具普通股轉換權或認股權之各種有價證券換發普通股股份及因員工酬勞發行新股者外，如本公司已發行（或私募）普通股股份增加時，本轉換公司債之轉換價格應依發行辦法規定予以調整，並於新股發行除權基準日調整之；如因股票面額變更致已發行普通股股份增加者，則於新股換發基準日調整之。

D.本轉換公司債發行日後滿三個月之翌日(民國 115 年 12 月 23 日)起，至發行期間屆滿前四十日(民國 120 年 8 月 13 日)止，若本公司普通股收盤價格連續三十個營業日超過當時本轉換公司債轉換價格達 30%(含)時，或本轉換公司債流通在外餘額低於原發行總面額之 10%時，本公司得分別於其後三十個營業日內及其後任何時間，按債券面額以現金收回該債券持有人之本轉換公司債。

E.債券持有人得於本轉換公司債發行滿三年之日(民國 118 年 9 月 22 日)時，要求本公司依債券面額將其所持有之本轉換公司債以現金贖回。

F.依轉換辦法規定，所有本公司收回(包括由證券商營業處所買回)、償還或已轉換之本轉換公司債將被註銷，不得再賣出或發行，其所附轉換權併同消滅。

(2)本公司於發行可轉換公司債時，依據國際會計準則第 32 號「金融工具：表達」規定，將屬權益性質之轉換權與各負債組成要素分離，帳列「資本公積－認股權」計$21,394。另嵌入之贖回權與賣回權，依據國際財務報導準則第 9 號「金融工具」規定，因其與主契約債務商品之經濟特性及風險非緊密關聯，故予以分離處理，並以其淨額帳列「透過損益按公允價值衡量之金融資產或負債」。經分離後主契約債務之有效利率為 2.5284%。

(十三)長期借款

借款性質	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
銀行擔保借款－不動產、廠房及設備	$ 115,540	$ 145,301	$ 157,305
銀行擔保借款－信保基金	32,315	53,831	66,133
	147,855	199,132	223,438
減：一年內到期部分	(50,429)	(65,338)	(76,403)
	$ 97,426	$ 133,794	$ 147,035
到期日區間	116.5~124.7	115.3~124.7	114.11~124.7
利率區間	2.15%~2.42%	2.15%~2.42%	2.15%~2.42%

1.本公司銀行借款認列於損益之利息費用請參閱附註六、(二十三)。

2.上列長期借款之擔保品，請參閱附註八之說明。

(十四)退休金

1.(1)本公司依據「勞動基準法」之規定，訂有確定福利之退休辦法，適用於民國 94 年 7 月 1 日實施「勞工退休金條例」前所有正式員工之服務年資，以及於實施「勞工退休金條例」後選擇繼續適用勞動基準法員工之後續服務年資。員工符合退休條件者，退休金之支付係根據服務年資及退休前 6 個月之平均薪資計算，15 年以內(含)的服務年資每滿一年給予二個基數，超過 15 年之服務年資每滿一年即給予一個基數，惟累積最高以 45 個基數為限。本公司按月就薪資總額 2%提撥退休基金，以勞工退休準備金監督委員會之名義專戶儲存於臺灣銀行。另本公司於每年年度終了前，估算前項勞工退休準備金專戶餘額，若該餘額不足給付次一年度內預估符合退休條件之勞工依前述計算之退休金數額，本公司將於次年度三月底前一次提撥其差額。

(2)民國 115 年及 114 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，本公司依上述退休金辦法認列之退休金成本分別為$1,316、$1,266、$3,858 及$3,547。

(3)本公司於民國 115 年度預計支付予退休計畫之提撥金為$5,048。

2.自民國 94 年 7 月 1 日起，本公司依據「勞工退休金條例」，訂有確定提撥之退休辦法，適用於本國籍之員工。本公司就員工選擇適用「勞工退休金條例」所定之勞工退休金制度部分，每月按薪資之 6% 提繳勞工退休金至勞保局員工個人帳戶，員工退休金之支付依員工個人之退休金專戶及累積收益之金額採月退休金或一次退休金方式領取。民國 115 年及 114 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日本公司依該退休金辦法認列之退休金成本分別為$4,516、$3,860、$12,277 及$11,342。

(十五)股份基礎給付

1.民國 115 年度，本公司之股份基礎給付協議如下：

協議之類型	給與日	給與數量	合約期間	既得條件
現金增資保留員工認購	115.9.3	500仟股	不適用	立即既得

民國 114 年度：無此情事。

2.本公司給與日給與之股份基礎給付交易使用 Black-Scholes 選擇權評價模式估計認股選擇權之公允價值，相關資訊如下：

協議之類型	給與日	股價	履約價格	預期波動率(註)	預期存續期間	預期股利	無風險利率	每單位公允價值
現金增資保留員工認購	115.9.3	62.80元	50.00元	51.10%	0.08年	-	1.49%	13.05元

註:預期波動率係指股票價格於未來一段期間內波動之幅度，且係以該特定期間內股票價格報酬率之標準差估計而得。

3.股份基礎給付交易產生之費用如下：

	115年度
現金增資保留員工認購	$ 6,525

(十六)股本

1.民國115年9月30日，本公司額定資本總額$3,000,000，實收資本額為$676,471，每股面額新台幣10元。

2.本公司普通股期初與期末流通在外股數均為67,647仟股。

3.本公司於民國115年6月11日經董事會決議通過現金增資發行普通股5,000仟股，每股面額新台幣10元，並經金融監督管理委員會於民國115年8月25日申報生效。該次現金增資每股發行價格為新台幣50元，募集資金總額為$250,000，股款已於民國115年10月6日全數收足，並以該日為增資基準日，相關變更登記已於民國115年10月21日經主管機關核准。

(十七)資本公積

依公司法規定，超過票面金額發行股票所得之溢額及受領贈與之所得之資本公積，除得用於彌補虧損外，於公司無累積虧損時，按股東原有股份之比例發給新股或現金。另依證券交易法之相關規定，以上開資本公積撥充資本時，每年以其合計數不超過實收資本額10%為限。公司非於盈餘公積填補資本虧損仍有不足時，不得以資本公積補充之。

(十八)保留盈餘

1.依本公司章程規定，年度決算如有本期稅後淨利，應先彌補累積虧損(包括調整未分配盈餘金額)，依法提撥10%法定盈餘公積，但法定盈餘公積累積已達本公司實收資本總額時，不在此限。次依相關法令或主管機關之規定提撥或迴轉特別盈餘公積。嗣餘盈餘，併同期初未分配盈餘(包括調整未分配盈餘金額)，由董事會擬具盈餘分配議案，提請股東會決議分派股東股息紅利。

分派股息及紅利、法定盈餘公積及資本公積之全部或一部如以現金之方式為之，依法授權董事會以三分之二以上董事之出席，及出席董事過半數同意後為之，並報告股東會。

2.本公司股利政策如下：

本公司股利政策係採剩餘股利政策，並以現金股利與股票股利搭配方式發放，將就前項當年度提列後之餘額提撥百分之十以上分派股東股利，其中現金股利不得低於當年度股利分派總額百分之十。

3.法定盈餘公積除彌補公司虧損及按股東原有股份之比例發給新股或現金外，不得使用之，惟發給新股或現金者，以該項公積超過實收資本額25%之部分為限。

4.民國114年3月7日經董事會決議對民國113年度之盈餘分派每股現金股利新台幣0.75元，股利總計$50,735，並於民國114年6月11日報告股東會。

5.民國115年3月11日經董事會決議對民國114年度之盈餘分派每股現金股利新台幣1.4元，股利總計$94,706，並於民國115年6月11日報告股東會。

（十九）營業收入

1. 本公司之營業收入均為客戶合約收入。客戶合約收入源於某一時點移轉及提供隨時間逐步移轉之產品及勞務，收入可細分為下列主要地理區域：

	台灣	日本	其他	合計
115年7月1日至9月30日				
部門收入(外部客戶合約收入)				
航太收入	$ 260,220	$ 56,144	$ 91,561	$ 407,925
非航太收入	136,967	11,633	3,019	151,619
	$ 397,187	$ 67,777	$ 94,580	$ 559,544
收入認列時點				
於某一時點認列之收入	$ 89,699	$ 44,636	$ 84,698	$ 219,033
隨時間逐步認列之收入	307,488	23,141	9,882	340,511
	$ 397,187	$ 67,777	$ 94,580	$ 559,544

	台灣	日本	其他	合計
114年7月1日至9月30日				
部門收入(外部客戶合約收入)				
航太收入	$ 186,223	$ 44,808	$ 65,413	$ 296,444
非航太收入	114,459	13,439	3,015	130,913
	$ 300,682	$ 58,247	$ 68,428	$ 427,357
收入認列時點				
於某一時點認列之收入	$ 42,760	$ 42,248	$ 67,074	$ 152,082
隨時間逐步認列之收入	257,922	15,999	1,354	275,275
	$ 300,682	$ 58,247	$ 68,428	$ 427,357

	台灣	日本	其他	合計
115年1月1日至9月30日				
部門收入(外部客戶合約收入)				
航太收入	$ 694,774	$ 155,066	$ 291,152	$ 1,140,992
非航太收入	371,560	38,485	9,034	419,079
	$ 1,066,334	$ 193,551	$ 300,186	$ 1,560,071
收入認列時點				
於某一時點認列之收入	$ 190,694	$ 129,495	$ 280,266	$ 600,455
隨時間逐步認列之收入	875,640	64,056	19,920	959,616
	$ 1,066,334	$ 193,551	$ 300,186	$ 1,560,071

	台灣	日本	其他	合計
114年1月1日至9月30日				
部門收入(外部客戶合約收入)				
航太收入	$ 532,329	$ 117,823	$ 159,698	$ 809,850
非航太收入	330,611	31,468	6,101	368,180
	$ 862,940	$ 149,291	$ 165,799	$ 1,178,030
收入認列時點				
於某一時點認列之收入	$ 164,226	$ 93,012	$ 155,781	$ 413,019
隨時間逐步認列之收入	698,714	56,279	10,018	765,011
	$ 862,940	$ 149,291	$ 165,799	$ 1,178,030

2.合約資產

本公司認列客戶合約收入相關之合約資產如下：

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日	114年1月1日
合約資產				
一產品加工合約	$ 85,617	$ 80,389	$ 63,261	$ 48,000

(二十)利息收入

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日
銀行存款利息	$ 2,724	$ 4,950
其他利息收入	575	508
	$ 3,299	$ 5,458

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
銀行存款利息	$ 9,066	$ 16,228
其他利息收入	3,381	2,028
	$ 12,447	$ 18,256

(二十一)其他收入

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日
其他收入－其他	$ 227	$ 1,210

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
其他收入－其他	$ 1,916	$ 5,155

(二十二)其他利益及損失

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日
外幣兌換淨利益	$ 10,062	$ 28,783
透過損益按公允價值衡量之金融資產(負債)淨(損失)利益	(4,464)	734
	$ 5,598	$ 29,517

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
外幣兌換淨利益(損失)	$ 11,775	$ (55,420)
透過損益按公允價值衡量之金融資產(負債)淨損失	(5,523)	(407)
處分及報廢不動產、廠房及設備利益	148	-
	$ 6,400	$ (55,827)

(二十三)財務成本

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日
利息費用：		
銀行借款	$ 2,895	$ 4,105
租賃負債	1,581	1,532
公司債	3,633	3,360
	$ 8,109	$ 8,997

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
利息費用：		
銀行借款	$ 8,124	$ 12,895
租賃負債	4,781	4,629
公司債	10,353	10,080
	$ 23,258	$ 27,604

(二十四)費用性質之額外資訊

	115年7月1日至9月30日			114年7月1日至9月30日		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
員工福利費用						
薪資費用	$ 130,298	$ 23,535	$ 153,833	$ 110,060	$ 19,234	$ 129,294
勞健保費用	10,084	1,664	11,748	9,310	1,663	10,973
退休金費用	4,851	981	5,832	4,156	970	5,126
其他員工福利費用	1,325	163	1,488	2,137	269	2,406
	$ 146,558	$ 26,343	$ 172,901	$ 125,663	$ 22,136	$ 147,799
折舊費用	$ 43,264	$ 1,245	$ 44,509	$ 43,528	$ 1,332	$ 44,860
攤銷費用	$ 885	$ 163	$ 1,048	$ 1,066	$ 155	$ 1,221

	115年1月1日至9月30日			114年1月1日至9月30日		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
員工福利費用						
薪資費用	$ 370,452	$ 65,583	$ 436,035	$ 276,525	$ 52,531	$ 329,056
勞健保費用	30,507	4,991	35,498	26,857	5,051	31,908
退休金費用	13,246	2,889	16,135	12,001	2,888	14,889
其他員工福利費用	4,268	531	4,799	3,899	507	4,406
	$ 418,473	$ 73,994	$ 492,467	$ 319,282	$ 60,977	$ 380,259
折舊費用	$ 130,476	$ 3,874	$ 134,350	$ 140,542	$ 4,086	$ 144,628
攤銷費用	$ 2,780	$ 432	$ 3,212	$ 2,692	$ 488	$ 3,180

1.依本公司章程規定，本公司年度扣除員工酬勞及董事酬勞前之本期稅前淨利，應提撥不低於1%為員工酬勞，且其中(不低於)80%提撥為分派予基層員工之酬勞，及不高於1%為董事酬勞。但公司尚有累積虧損(包含調整未分配盈餘金額)時，應預先保留彌補數額。

2.民國115年及114年7月1日至9月30日暨民國115年及114年1月1日至9月30日員工酬勞估列金額分別為$947、$794、$2,526及$808，董事酬勞估列金額均為$0，前述金額帳列薪資費用。

民國115年1月1日至9月30日係依當年度之獲利狀況，以章程所定之成數為估列基礎。經董事會決議之民國114年度員工酬勞$1,704，與民國114年度財務報告認列之金額一致。民國114年度之員工酬勞尚未實際配發。

本公司董事會通過之員工酬勞及董事酬勞相關資訊可至公開資訊觀測站查詢。

(二十五)所得稅

1.所得稅費用

所得稅費用組成部分:

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	$ 19,571	$ 9,962
未分配盈餘加徵	-	(729)
當期所得稅總額	$ 19,571	$ 9,233
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	(813)	5,747
所得稅費用	$ 18,758	$ 14,980

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	$ 55,363	$ 15,720
未分配盈餘加徵	-	-
以前年度所得稅(高)低估數	(7,059)	5,525
當期所得稅總額	48,304	21,245
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	(5,339)	(8,190)
所得稅費用	$ 42,965	$ 13,055

2.本公司營利事業所得稅業經稅捐稽徵機關核定至民國113年度，尚無稅務行政救濟之情事。

（二十六）每股盈餘

	115年7月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘（元）
基本每股盈餘			
歸屬於普通股股東之本期淨利	$ 74,939	67,647	$ 1.11
稀釋每股盈餘			
歸屬於普通股股東之本期淨利	$ 74,939	67,647	
具稀釋作用之潛在普通股之影響：			
員工酬勞	-	15	
可轉換公司債	75	786	
屬於普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 75,014	68,448	$ 1.10

	114年7月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘（元）
基本每股盈餘			
歸屬於普通股股東之本期淨利	$ 63,570	67,647	$ 0.94
稀釋每股盈餘			
歸屬於普通股股東之本期淨利	$ 63,570	67,647	
具稀釋作用之潛在普通股之影響：			
員工酬勞	-	16	
屬於普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 63,570	67,663	$ 0.94

	115年1月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘（元）
基本每股盈餘			
歸屬於普通股股東之本期淨利	$ 207,064	67,647	$ 3.06
稀釋每股盈餘			
歸屬於普通股股東之本期淨利	$ 207,064	67,647	
具稀釋作用之潛在普通股之影響：			
員工酬勞	-	52	
可轉換公司債	75	265	
屬於普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 207,139	67,964	$ 3.05

	114年1月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通在外股數(仟股)	每股盈餘（元）
基本每股盈餘			
歸屬於普通股股東之本期淨利	$ 66,898	67,647	$ 0.99
稀釋每股盈餘			
歸屬於普通股股東之本期淨利	$ 66,898	67,647	
具稀釋作用之潛在普通股之影響：			
員工酬勞	-	23	
屬於普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 66,898	67,670	$ 0.99

（二十七）現金流量補充資訊

1.僅有部分現金支付之投資活動：

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
購置不動產、廠房及設備	$ 110,494	$ 58,924
加：期初應付票據	8,417	8,610
期初其他應付款	50,295	12,665
減：期末應付票據	(13,899)	(7,956)
期末其他應付款	(48,666)	(38,480)
本期支付現金	$ 106,641	$ 33,763

2.僅有部分現金收取之投資活動：

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
處分不動產、廠房及設備	$ 192	$ -
加：處分不動產、廠房及設備利益	148	-
貨物稅退稅	6	-
期初其他應收款	-	13
減：處分價款折抵應付設備款	(330)	-
處分不動產、廠房及設備現金收取數	$ 16	$ 13

3.不影響現金流量之投資及籌資活動：

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
預付設備款轉列不動產、廠房及設備	$ 6,720	$ 2,356

(二十八)來自籌資活動之負債之變動

	115年1月1日	籌資現金流量之變動	其他非現金之變動(註)	115年9月30日
短期借款	$ 356,000	$ (33,000)	$ -	$ 323,000
應付短期票券	79,500	(9,500)	-	70,000
應付公司債	700,000	539,478	(93,682)	1,145,796
長期借款	199,132	(51,277)	-	147,855
租賃負債(註)	428,062	(10,530)	27,736	445,268
來自籌資活動之負債總額	$ 1,762,694	$ 435,171	$ (65,946)	$ 2,131,919

	114年1月1日	籌資現金流量之變動	其他非現金之變動	114年9月30日
短期借款	$ 535,000	$ (64,000)	$ -	$ 471,000
應付短期票券	130,000	49,500	-	179,500
應付公司債	700,000	-	-	700,000
長期借款	270,034	(46,596)	-	223,438
租賃負債	441,084	(9,750)	-	431,334
來自籌資活動之負債總額	$ 2,076,118	$ (70,846)	$ -	$ 2,005,272

註：其他非現金之變動為租賃負債因合約租金調整而增加及發行轉換公司債之轉換權、贖回權、賣回權及利息攤銷費用。

七、關係人交易

主要管理階層薪酬資訊

	115年7月1日至9月30日	114年7月1日至9月30日
短期員工福利	$ 2,257	$ 2,600
退職後福利	27	46
離職福利	3,941	-
	$ 6,225	$ 2,646

	115年1月1日至9月30日	114年1月1日至9月30日
短期員工福利	$ 9,028	$ 9,337
退職後福利	163	152
離職福利	3,941	-
	$ 13,132	$ 9,489

短期員工福利包括薪資、職務加給、退職退休金、各種獎金及獎勵金等。

八、質押之資產

本公司之資產提供擔保明細如下：

資產項目	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日	擔保用途
質押活期及定期存款（表列「按攤銷後成本衡量之金融資產－流動」）	$ 286,337	$ 226,885	$ 315,197	短期借款、長期借款、普通公司債、應付短期票券
債務證券（表列「按攤銷後成本衡量之金融資產－非流動」）	-	33,093	32,056	短期借款
不動產、廠房及設備	905,335	981,678	999,377	長期借款、普通公司債
	$ 1,191,672	$ 1,241,656	$ 1,346,630	

九、重大或有負債及未認列之合約承諾

(一)或有事項

無。

(二)承諾事項

已簽約但尚未實際支付之設備款

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
不動產、廠房及設備	$ 669,448	$ 95,185	$ 125,332

十、重大之災害損失

無。

十一、重大之期後事項

無。

十二、其他

(一)資本管理

本期無重大變動，請參閱民國 114 年度財務報表附註十二。

(二)金融工具

1.金融工具之種類

	115年9月30日	114年12月31日	114年9月30日
金融資產			
透過損益按公允價值衡量之金融資產			
強制透過損益按公允價值衡量之金融資產	$ 37,578	$ 42,625	$ 44,725
金融資產			
按攤銷後成本衡量之金融資產/放款及應收款			
現金及約當現金	$ 1,085,726	$ 505,018	$ 351,895
按攤銷後成本衡量之金融資產－流動	297,705	269,560	494,169
應收票據	1,820	2,141	28,800
應收帳款	585,559	418,566	447,567
其他應收款	18,554	4,612	10,126
按攤銷後成本衡量之金融資產－非流動	80,447	68,863	66,705
存出保證金	432	432	430
	$ 2,070,243	$ 1,269,192	$ 1,399,692
金融負債			
透過損益按公允價值衡量之金融負債			
指定為透過損益按公允價值衡量之金融負債	$ 3,040	$ -	$ -
按攤銷後成本衡量之金融負債			
短期借款	$ 323,000	$ 356,000	$ 471,000
應付短期票券	70,000	79,500	179,500
應付票據	15,249	9,317	9,306
應付帳款	128,777	78,573	91,287
其他應付款	250,512	207,158	180,567
應付公司債	1,145,796	700,000	700,000
長期借款(包含一年或一營業週期內到期)	147,855	199,132	223,438
	$ 2,081,189	$ 1,629,680	$ 1,855,098
租賃負債	$ 445,268	$ 428,062	$ 431,334

2.風險管理政策

本公司管理當局為能有效控管及降低財務風險，致力於辨認、評估並規避市場之不確性，以降低市場變動對公司財務績效之潛在不利影響。該等風險包括市場風險(包含匯率風險、利率風險及價格風險)、信用風險及流動性風險。

3.重大財務風險之性質及程度

(1)市場風險

匯率風險

A.本公司營運活動涉及跨國係以外幣進行交易，因此產生外幣匯率風險。

B.本公司從事之業務涉及若干非功能性貨幣，故受匯率波動之影響，具重大匯率波動影響之外幣資產及負債資訊如下：

	115年9月30日		
	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)
(外幣:功能性貨幣)			
金融資產			
貨幣性項目			
美金：新台幣	$ 18,467	31.85	$ 588,174
日幣：新台幣	1,501,794	0.20	300,359

	114年12月31日		
	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)
(外幣:功能性貨幣)			
金融資產			
貨幣性項目			
美金：新台幣	$ 16,220	31.43	$ 509,795
日幣：新台幣	1,650,265	0.20	330,053

	114年9月30日		
	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)
(外幣:功能性貨幣)			
金融資產			
貨幣性項目			
美金：新台幣	$ 19,798	30.45	$ 602,849
日幣：新台幣	1,598,982	0.21	335,786
金融負債			
貨幣性項目			
美金：新台幣	377	30.45	11,480

C.本公司貨幣性項目因匯率波動具重大影響於民國115年及114年7月1日至9月30日暨民國115年及114年1月1日至9月30日認列之全部兌換利益(損失)(含已實現及未實現)彙總金額分別為$10,062、$28,783、$11,775及$(55,420)。

D.本公司因重大匯率波動影響之外幣市場風險分析如下：

		115年1月1日至9月30日		
		敏感度分析		
	帳面金額（新台幣）	變動幅度	影響損益	影響其他綜合損益
(外幣:功能性貨幣)				
金融資產				
貨幣性項目				
美金：新台幣	$ 588,174	1%	$ 5,882	$ -
日幣：新台幣	300,359	1%	3,004	-

		114年1月1日至9月30日		
		敏感度分析		
	帳面金額（新台幣）	變動幅度	影響損益	影響其他綜合損益
(外幣:功能性貨幣)				
金融資產				
貨幣性項目				
美金：新台幣	$ 602,849	7%	$ 42,199	$ -
日幣：新台幣	335,786	2%	6,716	-
金融負債				
貨幣性項目				
美金：新台幣	11,480	7%	804	-

價格風險

A.本公司暴露於價格風險的債務工具，係所持有帳列於透過損益按公允價值衡量之金融資產。為管理債務工具投資之價格風險，本公司將其投資組合分散，其分散之方式係根據本公司設定之限額進行。

B.本公司主要投資於開放型基金，此等債務工具之價格會因該投資標的未來價值之不確定性而受影響。若該等債務工具價格上升或下跌1%，而其他所有因素維持不變之情況下，對民國115年及114年1月1日至9月30日之稅前淨利因來自透過損益按公允價值衡量之金融工具之利益或損失將分別增加或減少$376及$447。

現金流量及公允價值利率風險

A.本公司之利率風險主要來自按浮動利率發行之短期借款及長期借款，使公司暴露於現金流量利率風險。於民國115年及114年1月1日至9月30日，本公司按浮動利率發行之借款主要為新台幣計價。

B.本公司之借款係採攤銷後成本衡量，依據合約約定每年利率會重新訂價，因此本公司暴露於未來市場利率變動之風險。

C.當借款利率上升或下跌 0.1%，而其他所有因素維持不變之情況下，民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利將分別減少或增加$353 及$521，主要係因浮動利率借款導致利息費用隨之變動所致。

(2)信用風險

A.本公司之信用風險係因客戶或金融工具之交易對手無法履行合約義務而導致本公司財務損失之風險，主要來自交易對手無法清償按收款條件支付之應收票據、應收帳款、合約資產及分類為按攤銷後成本衡量之金融資產與透過損益按公允價值衡量之債務工具投資的合約現金流量。

B.為維持應收票據及應收帳款之品質，本公司已建立營運相關信用風險管理之程序。

個別客戶之風險評估係考量包含該客戶之財務狀況、歷史交易記錄及目前經濟狀況等多項可能影響客戶付款能力之因素。本公司亦會在適當時機使用某些信用增強工具，以降低特定客戶之信用風險。

銀行存款及其他金融工具之信用風險，係由本公司財務部門衡量並監控。由於本公司之交易對象及履約他方均係信用良好之金融機構，無重大之履約疑慮，故無重大之信用風險。

C.本公司採用 IFRS 9 提供以下之前提假設，作為判斷自原始認列後金融工具之信用風險是否有顯著增加之依據：

當合約款項按約定之支付條款逾期超過 30 天，視為金融資產自原始認列後信用風險已顯著增加。

D.本公司採用 IFRS 9 提供前提假設，當合約款項按約定之支付條款逾期超過 90 天，視為已發生違約。

E.本公司用以判定金融資產為信用損失之指標如下：

(A)發行人發生重大財務困難，或將進入破產或其他財務重整之可能性大增；

(B)發行人由於財務困難而使該金融資產之活絡市場消失；

(C)發行人延滯或不償付利息或本金；

(D)導致發行人違約有關之全國性或區域性經濟情況不利之變化。

F.本公司按授信條件對客戶之應收票據、應收帳款及合約資產分組，採用簡化作法以損失率為基礎估計預期信用損失。

G.本公司經追索程序後，對無法合理預期可回收金融資產之金額予以沖銷，惟本公司仍會持續進行追索之法律程序以保全債權之權利。

H.本公司係按應收票據、應收帳款及合約資產之歷史信用損失經驗並考量前瞻性調整建立損失率，以估計備抵損失，民國115年9月30日、114年12月31日及114年9月30日之預期損失率如下：

	未逾期	逾期1-30天	逾期31-90天	逾期91天以上
115年9月30日				
預期損失率	0.72%	0.90%	1.08%~1.26%	100.00%
	未逾期	逾期1-30天	逾期31-90天	逾期91天以上
114年12月31日				
預期損失率	0.64%	0.80%	0.97%~1.13%	100.00%
	未逾期	逾期1-30天	逾期31-90天	逾期91天以上
114年9月30日				
預期損失率	0.10%	0.50%	1.00%	5.00%

I.本公司採簡化作法之應收帳款備抵損失變動表如下：

	115年	114年
	應收帳款	應收帳款
1月1日	$ 1,703	$ 1,703
提列減損損失	2,113	-
9月30日	$ 3,816	$ 1,703

(3)流動性風險

A.本公司管理流動性風險之目標，係為維持營運所需之現金及銀行存款以及足夠之銀行融資額度等，以確保本公司具有充足之財務彈性。

B.下表係本公司之非衍生金融負債，按相關到期日予以分組，依據資產負債表日至合約到期日之剩餘期間進行分析。下表所揭露之合約現金流量金額係未折現之金額。

	115年9月30日		
	1年內	1至2年內	2年以上
非衍生金融負債:			
短期借款	$ 324,767	$ -	$ -
應付短期票券	70,000	-	-
應付票據	15,249	-	-
應付帳款	128,777	-	-
其他應付款	250,512	-	-
租賃負債	20,414	20,414	495,954
應付公司債及嵌入式衍生工具	13,440	700,560	500,000
長期借款(包含一年或一營業週期內到期)	53,109	36,037	67,840

	114年12月31日		
	1年內	1至2年內	2年以上
非衍生金融負債:			
短期借款	$ 357,291	$ -	$ -
應付短期票券	79,500	-	-
應付票據	9,317	-	-
應付帳款	78,573	-	-
其他應付款	207,158	-	-
租賃負債	19,172	19,172	480,155
應付公司債	13,440	710,640	-
長期借款(包含一年或一營業週期內到期)	68,983	48,466	93,676

	114年9月30日		
	1年內	1至2年內	2年以上
非衍生金融負債:			
短期借款	$ 473,520	$ -	$ -
應付短期票券	179,500	-	-
應付票據	9,306	-	-
應付帳款	91,287	-	-
其他應付款	180,567	-	-
租賃負債	19,172	19,172	484,947
應付公司債	13,440	13,440	713,440
長期借款(包含一年或一營業週期內到期)	80,441	53,553	102,564

C.本公司並不預期到期日分析之現金流量發生時點會顯著提早，或實際金額會有顯著不同。

(三)公允價值資訊

1.為衡量金融及非金融工具之公允價值所採用評價技術的各等級定義如下：

第一等級：企業於衡量日可取得之相同資產或負債於活絡市場之報價(未經調整)。活絡市場係指有充分頻率及數量之資產或負債交易發生，以在持續基礎上提供定價資訊之市場。本公司投資之受益憑證的公允價值皆屬之。

第二等級：資產或負債直接或間接之可觀察輸入值，但包括於第一等級之報價者除外。本公司發行之可轉換公司債的公允價值屬之。

第三等級：資產或負債之不可觀察輸入值。本公司可轉換公司債之嵌入贖回權與賣回權皆屬之。

2.非以公允價值衡量之金融工具

除下表所列者外，本公司非以公允價值衡量之金融工具(包括現金及約當現金、按攤銷後成本衡量之金融資產、應收票據、應收帳款、其他應

收款、存出保證金、短期借款、應付短期票券、應付票據、應付帳款、其他應付款、租賃負債、應付普通公司債及長期借款)的帳面金額係公允價值之合理近似值。

	115年9月30日			
		公允價值		
	帳面金額	第一等級	第二等級	第三等級
金融負債：				
應付公司債	$ 445,796	$ -	$ 449,310	$ -

上述公司債之公允價值按預期支付之現金流量以資產負債表日市場利率折現之現值衡量。

3.以公允價值衡量之金融及非金融工具，本公司依資產及負債之性質、特性及風險及公允價值等級之基礎分類，相關資訊如下：

(1)本公司依資產及負債之性質分類，相關資訊如下：

115年9月30日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
受益憑證	$ 37,578	$ -	$ -	$ 37,578
負債				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
轉換公司債				
嵌入之選擇權(註)	$ -	$ -	$ 3,040	$ 3,040

114年12月31日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
受益憑證	$ 42,625	$ -	$ -	$ 42,625

114年9月30日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
受益憑證	$ 44,725	$ -	$ -	$ 44,725

註：為本公司發行可轉換公司債之贖、賣回權價值，請參閱附註六、(十二)之說明。

(2)本公司用以衡量公允價值所使用之方法及假設說明如下：

A.本公司採用市場報價作為公允價輸入值(即第一等級)者，依工具之特性分列如下：

	開放型基金
市場報價	淨值

B.針對複雜度較高之金融工具，本公司係根據同業間廣泛運用之評價方法及技術所自行開發之評價模型衡量公允價值。此類評價模型通常係用於衍生金融工具、嵌入式衍生工具之債務工具或證券化商品等。此類評價模型所使用之部份參數並非市場可觀察之資訊，本公司必須根據假設做適當之估計。非市場可觀察之參數對金融工具評價之影響請參閱附註十二、(三)8.說明。

4.民國115年及114年1月1日至9月30日無第一等級與第二等級間之任何移轉。

5.下表列示民國115年及114年1月1日至9月30日第三等級之變動：

	115年	114年度
	衍生金融工具	衍生金融工具
1月1日	$ -	$ -
本期發行	3,220	-
認列於損益之利益(註)	(180)	-
9月30日	$ 3,040	$ -

註：表列其他利益及損失。

6.民國115年及114年1月1日至9月30日無自第三等級轉入及轉出之情形。

7.本公司對於公允價值歸類於第三等級之評價流程係由會計部門負責進行金融工具之獨立公允價值驗證，藉獨立來源資料使評價結果貼近市場狀態、確認資料來源係獨立、可靠、與其他資源一致以及代表可執行價格，並定期校準評價模型、進行回溯測試、更新評價模型所需輸入值及資料及其他任何必要之公允價值調整，以確保評價結果係屬合理。

8.有關屬第三等級公允價值衡量項目所使用評價模型之重大不可觀察輸入值之量化資訊及重大不可觀察輸入值變動之敏感度分析說明如下：

	115年9月30日公允價值		評價技術	重大不可觀察輸入值	區間(加權平均)	輸入值與公允價值關係
衍生金融負債：						
可轉換公司債之贖、賣回權	$	3,040	二元樹可轉債評價模型	波動率	50.05%	波動率愈高，公允價值愈高

民國114年12月31日及114年9月30日：無此情事。

9.本公司經審慎評估選擇採用之評價模型及評價參數，惟當使用不同之評價模型或評價參數可能導致評價之結果不同。針對分類為第三等級之金融資產及金融負債，若評價參數變動，則對本期損益或其他綜合損益之影響如下：

			115年9月30日			
			認列於損益		認列於其他綜合損益	
	輸入值	變動	有利變動	不利變動	有利變動	不利變動
金融負債						
可轉換公司債						
嵌入之選擇權	波動率	±5%	$ 780	$ (450)	$ -	$ -

民國114年12月31日及114年9月30日：無此情事。

十三、附註揭露事項

(一)重大交易事項相關資訊

1.資金貸與他人：無此情事。

2.為他人背書保證：無此情事。

3.期末持有有價證券情形（不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分）：附表一。

4.與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：無此情事。

5.應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：無此情事。

6.母子公司間業務關係及重要交易往來情形：無此情事。

(二)轉投資事業相關資訊

無。

(三)大陸投資資訊

無。

十四、部門資訊

(一)一般性資訊

本公司主要係加工或製造並銷售航空器零組件、機械設備零組件及一般儀器零組件等相關產品，主要營運決策者係以公司整體營運成果評估績效及分配資源，經辨認本公司為單一應報導部門。

(二)部門資訊之衡量

本公司為單一應報導部門，本公司營運決策者根據財務報告評估營運部門的表現。營運部門之會計政策與財務報告附註四所述之重大會計政策之彙總說明相同。

(三)部門損益、資產與負債之資訊

提供予主要營運決策者之應報導部門資訊，請參閱資產負債表及綜合損益表。

晟田科技工業股份有限公司

期末持有之重大有價證券（不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分）

民國115年9月30日

附表一

單位：新台幣仟元

（除特別註明者外）

持有之公司	有價證券種類及名稱（註1）	與有價證券發行人之關係（註2）	帳列科目	期末				備註
				股　數	帳面金額（註3）	持股比例	公允價值	（註4）
晟田科技工業股份有限公司	TSMC全球有限公司公司債	無	按攤銷後成本衡量之金融資產-非流動	-	$ 10,963	-	$ 10,963	-
	TSMC亞利桑那公司公司債	無	按攤銷後成本衡量之金融資產-非流動	-	69,484		69,484	-
	2621.JT-iShares20年期以上美國公債匯率避險指數基金	無	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	-	37,578	-	37,578	-

註1：本表所稱有價證券，係指屬國際財務報導準則第9號「金融工具」範圍內之股票、債券、受益憑證及上述項目所衍生之有價證券。
註2：有價證券發行人非屬關係人者，該欄免填。
註3：按公允價值衡量者，帳面金額乙欄請填公允價值評價調整後及扣除累計減損之帳面餘額；非屬按公允價值衡量者，帳面金額乙欄請填原始取得成本或攤銷後成本扣除累計減損之帳面餘額。
註4：所列有價證券有因提供擔保、質押借款或其他依約定而受限制使用者，應於備註欄註明提供擔保或質借股數、擔保或質借金額及限制使用情形。